

様式 1

研究報告書（平成 25 年度）

提出者 入江 恵子

提出年月日 平成 26 年 3 月 14 日

【本ユニットにおける研究テーマ】

和文

医療の介入による逸脱増幅の研究——インターセックス/DSD 医療の国際比較

英文

Medical Intervention to Body: medical treatment to Intersex/DSD patients

【研究のねらいと目的】 (600 字程度)

私たちは「健康」を迫及するために医療を「利用」するが、同時に、結果として医療が私たちがコントロールすることもある。それは日々進歩する医療技術と私たちの関係性がますます複雑になっているということの表れであり、特に社会的少数者にその傾向が顕著に表れると考えられる。これまでの研究から、医療の介入によって「逸脱」とされる当事者は、社会とかかわりを持つ際に、自らの「身体」の経験を通して、周りの社会環境と相互作用しながら関係性を築いていることは明らかにすることができた。しかし、その相互作用とは具体的にはどのような関係性にに基づき、当事者にとってどのような意味を持つのかは明らかにできていない。よって、本研究における目的は、特に当事者が社会と結ぶ関係性を明らかにすることにある。

さらに、本研究は以下の問題意識に基づき、当事者の意味世界に注目しつつ、逸脱化された身体を社会へと解放していくことで当事者を身体の重みから解き放っていくことを目指した。1. 医療と人間の関係は現在どのような状況にあり、今後どのように変化してゆくのか。2. 医療と関わることによって社会においてさらに「逸脱」とされる当事者はどのような生活をおくるのか。3. こうした関係は地域や国、そしてその背景にある文化によってどのように異なっているのか。

【研究業績】 学会報告・論文など

著書

「第 17 章 アメリカのジェンダー」、167-173

『アメリカを知るための 18 章：超大国を読み解く』 杉田米行編、大学教育出版 平成 25 年 10 月

学会報告

"Possibility of the 'New' Intimate Sphere: HIV infection due to tainted blood products in Japan." Japan Studies Association Conference 平成 26 年 1 月

"Deviance Caused by Medical Treatment: Cases of HIV and DSD (Disorders of Sex Development)." The Pacific Sociological Association 平成 26 年 3 月

その他

“Spiritual Border-Crossing in the U.S. Women’s Rights Movement.” 招待講演（コメンテーター） 大阪大学

【成果の概要】 (800字程度)

本年度は、第一に、特に医療の介入によって「逸脱」とされる当事者が自らの「身体」の経験を通して、周りの社会環境と相互作用しながら関係性を築いているそのプロセスについて、日本における血友病、かつ HIV 感染被害の当事者間の相互作用に着目した。その成果を1月にアメリカ・ハワイで開かれた日本研究学会において、"Possibility of the 'New' Intimate Sphere: HIV infection due to tainted blood products in Japan."として発表した。この発表内容については、今後同学会の雑誌に投稿する予定である。

第二に2つ目に、インターセックスと血友病・薬害 HIV 医療における、身体の逸脱の増幅という現象についての理論的枠組みの構築を行った。具体的には、これまでの成果に加え、インターセックスから性分化疾患への用語の変遷を、新自由主義におけるシチズンシップ概念から分析した。その成果を、3月にアメリカ・ポートランドにて行われた PSA(Pacific Sociological Association)学会にて、"Deviance Caused by Medical Treatment: Cases of HIV and DSD (Disorders of Sex Development)." として発表した。

また、これまでに行ってきた研究成果のうち、北米社会におけるインターセックスとジェンダーとの関係についてまとめ、「第17章 アメリカのジェンダー」として『アメリカを知るための18章：超大国を読み解く』において出版されている。

11月には、大阪大学アメリカ研究会特別招聘講演会にコメンテーターとして招へいされた。アメリカ・ケンタッキー大学の Kathi Kern 教授による、インド人思想家と女権運動との関係性をテーマにした講演内容についてコメントを行った。

KUASU 研究員の活動としては、若手研究プロジェクトの立ち上げのために、水野恵莉研究員をはじめとし、女性の身体と健康増進活動（ヨガなど）についての研究会を行った。国際若手学会をきっかけに、韓国の Robert Hamilton 氏と共同研究の計画を立てている。

【通信欄】